

“リフレ生活の大事さに 気付くための仕組み”

一般社団法人(非営利)「健康科学リソース
センター(RECHS/レックス)」からのメッセージ

理事長 松尾雄志

平成23年10月7日(金)

たじりふれ愛センター

大阪大学 蛋白質研究所 招聘教授

京都大学 医学研究科人間健康科学系 特別研究員

全人情報とバイオリソースを 長期にわたって貯めると？

超早期診断ができて、高齢期でのQOL
が高くなり、元気で長生きが実現する！！

■ 夢のPPK「〇×〇×」に近づく

■ 医療費は減るけど年金総額が増える？

■ 寝たきり長生きとどちらが健全？

全人情報って何？

■ 身体情報：
年齢、性別、身長、体重etc.

■ 生活習慣情報（ライフスタイル）：
食事、ストレス、運動、飲酒、喫煙

■ 医療情報：問診、カルテ、
臨床検査データ

バイオリソース (BR) って何？

■血液(血清):
全身的で、検査データが豊富!!

■唾液: 簡便性が高いが、局所的

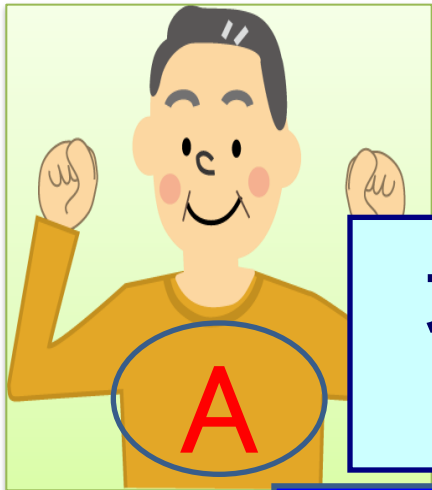
■排泄物: 簡単に採集できるが、影響因子
が大(食事と尿は注目に値する)

■遺伝子: 根源的であるがために 運命
論的で、究極の個人情報

一度に全部は無理なので、血液から

どういう仕組み？

～少なくとも年に1回～



元気なときから全人情報を集積
(特に、食習慣とストレス調査)

Aさんの
全人情報

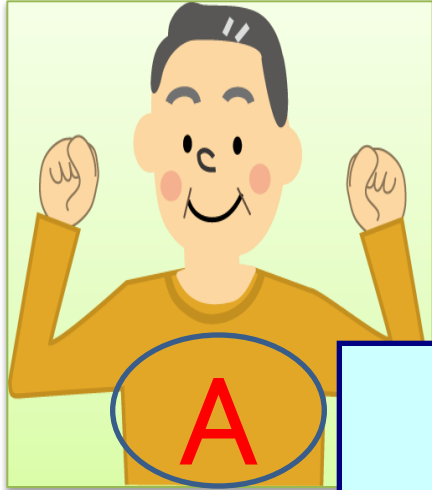


Aさんの血液

BR(血液)も一緒に集めて
凍結保存・管理する

5年、10年
と継続

仕組みのメリット？



不運にも、Aさん
体調が変(ウツ?)



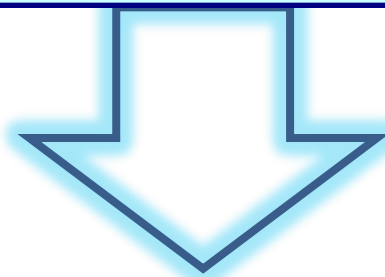
何か変

- Aさんの自身のメリット:
 - ・大事に至る前に手を打てる
 - ・(入院)治療となった場合でも、治療経過と再発予知ができる

■ Aさんケースから学べることがある
例：食習慣の「どんなアンバランス」に気をつければ「うつ」を防げるか分かる

■ さらに、遺伝子型が似ている人：
Aさんのアンバランスが大変参考になる

❁ 似てない人：別のバランスに気を配る



❁ 他人ではなく、自分の「食バランス」(くせ)を分かった上での生活改善→超早期診断

どこで、何をする？

京大(斉藤教授)・東大(佐々木教授)

食事やストレス
調査の結果を解析

超早期診断の検査
法を開発・検証

健
診
者

全人情報 + 血液

早期に食などで生活改善指導

提携病院: 松波総合病院
(岐阜県羽島郡笠松町)

新たに見つかった検査法で過去の情報とBRを分析して検証

SF映画“Back to the Future” に擬えることができる仕組み??

(タイムマシンに乗って)過去に遡って、
集積情報とBRを解析して現在(未来)に
向かって「何が起こったか」を調べる!!

「病気になったら病院に行けばえー」な
どと言わないで、「自分のアンバランス
が何か」を知ってPPKに近づきましょう!!

特に、地域医療と密着した提携病院と
健全な協力者を探しています!!

RECHS:「全人情報と一体化した
バイオリソースの歴年的長期保管」

RECHSのアドバイザーである
武田英二先生の講演を聞いて
「食のバランス」を理解し、
脳からストレスを消しましょう !!

RECHSは英語の呼称
(Resource Center for Health Science)に由来